

さいたまシルバー



与野公園

「ばらテラス」からの眺め

Content

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 定時総会
- 8 会員紹介
- 9 お客様の声
- 11 地域班
- 12 親睦互助会
- 14 女子会だより
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

〒330-0801

埼玉県さいたま市大宮区土手町 1 丁目 213 番地 1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel : 048-669-0303

Fax : 048-669-0305

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー

検索





定 時 総 会 挨 拶

公益社団法人

さいたま市シルバー人材センター

理 事 長 佐伯 鋼兵

皆様、こんにちは。本日はたくさんの会員の皆様にご出席をいただき、ここに令和7年度定時総会が盛大に開催できますことに心より感謝申し上げます。また、ご来賓の皆様におかれましては、公務ご多忙中にもかかわらず、さいたま市長 清水 勇人様、公益財団法人いきいき埼玉副理事長 檜山 志のぶ様には、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たちの最上部団体であります全国シルバー人材センター事業協会では、全国の会員数が減少を続けていることから、全国の会員数を現在より10万人以上純増させることを目指すという「新たな仲間づくり計画(10万人の増加を目指して!)」を策定いたしました。当センターにおいても、引き続き会員の拡大に向けた取り組みに努めてまいります。

近年、社会全体において働き方の多様化が進んでおります。シルバー人材センターを取り巻く環境も大きく変化してきておりまして、とりわけ、昨年11月にフリーランス法が施行されたことに伴い、厚生労働省からシルバー人材センターにおける契約方式の見直しに関する基本方針が示されました。会員の皆様が、より安心して働くことができる環境を確保するため、全国のシルバー人材センターが、新たな契約方式への移行を進めているところです。

そのような中、年齢にとらわれない働き方、自分のライフスタイルに合わせた働き方、就業以外のセンター活動への関心や期待が高まっていることを実感しているところであり、当センターでは、会員の皆様が自らの能力を活かし活躍できる場として、「はたらく場」「まなびの場」「つどいの場」を充実させることが、より重要であり、シルバー人材センターがいつまでも活躍できる「居場所」として、地域社会の中心となるよう存在感を発揮し事業を展開していく必要があると考えております。

一方、会員の皆様が、事故なく安全に就業できるよう、事故の未然防止が大きな課題となっております。今年度新たに決まりました「安全スローガン」は、会員の皆様から応募いただいたものです。より一層、安全就業に努めていただきますようお願い申し上げます。

結びに、今後のシルバー人材センター事業の益々の発展と、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様をはじめ、会員の皆様のご健康とご活躍を心からご祈念申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。



定 時 総 会 挨 拶

さいたま市長 清水 勇 人

皆様こんにちは。ただ今、御紹介いただきました、さいたま市長の清水勇人です。

本日は、公益社団法人さいたま市シルバー人材センターの令和7年度定時総会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

佐伯理事長をはじめ、さいたま市シルバー人材センターの皆様方には、日頃より、市政全般にわたる格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、本日表彰を受けられる皆様におかれましては、長年に渡りシルバー人材センター事業の推進に御尽力されましたことに對し、心から敬意を表しますとともに、お祝いを申し上げます。誠におめでとうございます。

さて、人口増加が続く本市は、昨年人口が135万人を突破し、私がさいたま市長に就任した平成21年5月以降13万人増加しており、中でも0歳から14歳までの子どもの転入超過数は、9年連続で全国1位を記録しました。

一方で、本市の65歳以上の人口は現在、30万人を超え、今年は2025年問題とも言われてきた、いわゆる団塊の世代の方々が75歳以上となる年であり、今後は本市でも超高齢社会が進んでまいります。

本年4月には65歳までの雇用機会確保の義務や70歳までの定年延長の努力義務を企

業に課す、高年齢者雇用安定法の改正がされるなど、シニアの皆様を取り巻く就労環境は年々変化しています。その中で、本市としては、一人ひとりのニーズやライフスタイルに合わせて、シニアの皆様が生涯現役として暮らせる社会の実現や、誰もが自分らしく生きられる地域共生社会の実現など、誰一人取り残さず、誰もが住みやすい地域社会の実現に向けた取組を推進し、市民の皆様の「しあわせ」の質と量を向上させてまいります。

シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様が生きがいを持って活動することができる機会を創出するとともに、生涯現役で輝くことができる場を引き続き提供されることを期待しております。

本市といたしましても、このような重要な役割を担われるシルバー人材センターと連携して、シニアの皆様方の社会参加を支援してまいりますので、今後とも、御理解、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、さいたま市シルバー人材センターのますますの御発展と、会員皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

令和 7 年度定時総会

令和 7 年度定時総会が 6 月 23 日(月)、大宮駅東口 レイボックホール RaiBoC Hall 大ホールにて開催されました。

当日の出席者は 439 名、委任状と合わせ 2,994 名の出席となりました。

司会を星野 光一会員が務め、佐伯理事長の挨拶に続き、ご来賓のさいたま市長 清水 勇人様、公益財団法人いきいき埼玉副理事長 檜山 志のぶ様から祝辞をいただきました。

その後、佐伯理事長より会員表彰、安全表彰及び安全スローガン表彰を行い、表彰状が授与されました。

引き続き総会に入り、議長に島村 京一副理事長が選任されました。

報告事項として、令和 6 年度の監査報告が監事より報告され、続いて理事が令和 6 年度事業報告、規約改正報告を行いました。

また決議事項として、令和 6 年度計算書類等の承認および役員の報酬等及び費用に関する規程の改正について理事が説明のうえ審議され、いずれも承認されました。

決議事項に続き、その他の報告事項として、理事より 3 月の理事会で承認された令和 7 年度事業計画及び令和 7 年度収支予算と新契約方式について報告を行いました。

引き続き、会員によるアトラクションが行われ、ダンス、歌、ギター弾き語り、和太鼓と多彩な芸を披露しました。

最後にお楽しみ抽選会を行い、佐伯理事長が壇上で抽選くじを引き、1 等から 3 等まで当選した方に豪華景品が贈られました。また多くの方にお米一袋が贈られました。

以上で令和 7 年度定時総会は盛況のうちに閉会しました。

議長を務める島村副理事長



挨拶をする佐伯理事長



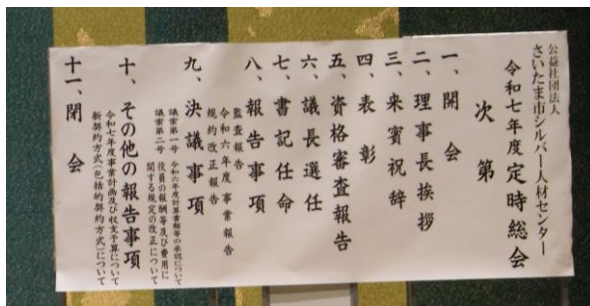
ご来賓の皆様



さいたま市長 清水 勇人 様



公益財団法人いきいき埼玉
副理事長 檜山 志のぶ 様



表彰者の皆さん



議案を説明する理事



抽選をする理事長

令和7年度 事業計画

1 会員の拡大

さまざまなセンター活動を通じて健康を維持し、いつまでもいきいきと活躍できる場を充実させ、仲間を増やします。

2 就業の場の確保

一人でも多くの会員の希望に沿った就業提供に努めるほか、発注者の多様なニーズに対応できる体制を整えます。

3 安全・適正就業対策の推進

就業中の事故「ゼロ」を目指すとともに、適正で公平な就業を推進します。

4 運営体制の強化・充実

さまざまな環境の変化に対応し、社会の期待にも応えられるよう、組織や財政基盤の安定に努めます。また、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づく会員組織となるよう組織や体制を充実させます。

会員表彰者



佐藤 正秀さん



岡 力夫さん



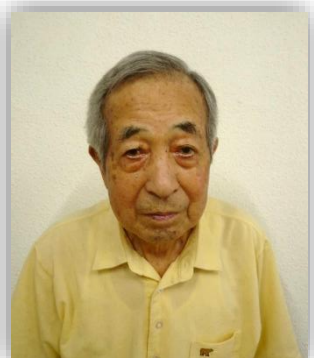
松田 幸子さん



石田 一男さん



西澤 誠さん



松本 孝治さん

会員表彰者（安全表彰）



宮田 常弥さん



山内 正俊さん



関根 正さん

安全スローガン表彰者



大熊 一夫さん



大澤 功さん

大熊 一夫さん

「ちょっと待て その過信が 事故まねく」

大澤 功さん

「点検、確認、安全作業の第一歩」

総会終了後のアトラクション

手話ダンス アイリス



銭太鼓 菅原 勝子会員



歌 実原 寿子会員



ギター弾き語り 鈴木 彰夫会員



和太鼓 小川 清会員



歌 及川 豊子会員



踊り 三品 信子会員他



会 員 紹 介

自分が楽しくなければ 他人も楽しくない

大宮会員 小俣^{もりたみ} 守民 さん

小俣さんは、以前シルバー人材センター大宮事務所の窓口で、高齢者生きがい活動センター受付業務の仕事に就業していたことがあります。大宮事務所に就業報告書の提出や講習会などで訪れる会員や、活動センターのサークルに参加する会員の皆さんとはお会いしたことがあるかも知れません。

シルバーではその後アパートの清掃業務、宮原駅駐輪場の管理業務などに従事し、現在は防災公園のカギの開閉業務をやっています。

飄々とした風貌と穏やかな話しぶりでシルバー歴を紹介して頂きました。「私は人と触れ合うことが大好きです。いずれの職場でもたくさんの人との楽しい出会いがありました」と話される小俣さんは、中学校の美術の先生だったそうです。教えることが楽しい、教わることが楽しい授業を目指し、野球部の顧問なども歴任したそうです。

「現役時代から趣味だった陶芸をたくさんの人に楽しんでもらおうと、シルバーの会員、町内会の人、一般の人を対象にプラザノースや自治会館などで陶芸教室を開いています。コーヒーカップや小皿など身近なものを楽しんでもらっています」

「散歩やジョギングの習慣も生活の一部として続けています。コースは色々ですが、途中で見つけた野の花を（自宅が大宮事務所の近くなので）事務所受付に一輪挿しするのも楽しみです」皆さん気が付きましたか？

自分が楽しみ、他人を楽しませる小俣さんでした。

（取材・後藤編集委員）



木のエキス？に 囲まれてヘルシー

与野会員 藤原^{ふじはら} 利春さんら3人

植木剪定のグループにお話を伺いました。グループ長の藤原さんは、与野事務所植木班の班長で、他のグループと連携して人の配分も行うほか、植木職人養成研修の講師も務めています。グループ会員は5人。「植木は経験。現場に出てどんどんやって要領をつかむもの」（藤原さん）だそうです。

昨年11月から始めたのが田中さん。高所作業も少し落ち着いてきたとのこと。「やっと木に慣れつつある。今やってて面白い。どんな木なのか、道具もいろいろある」と言う。

鈴木さんは今年4月からで経験1カ月。もともと「外で働きたい」と思っていて、「木と接するのが好き」でこの道へ。知識はまだまだだが「体力的には自信がある」と言う。

剪定仕事のピークは6～7月と10～11月。天候などで予定がずれると他グループに応援

を依頼するなど、とても「調整が大変」（藤原さん）だそうです。「木の上は筋肉を使う。松を1日やって家に帰ると足がツルこ

とも…。仕事はあくまでも仕事。個人の健康・安全が第一」という藤原さんは、心臓病で手術したことがあり、田中さんも胃の手術経験者。鈴木さんも狭心症の持病がある。しかし、「植木をやっているので、風邪をひいたり、熱をだしたりしたことがない。木のエキスに囲まれているからだ、と同業の皆さんも言っている」（藤原さん）。元気な先輩も多く、つい最近まで85歳がいたが、「カアチャン孝行」のために引退されたとか。



（左から）田中泰久さん・藤原利春さん・鈴木勇代さん

（取材・小野塚編集委員）

「学園生の登下校見守り」

シルバー就業に感謝

会 員 紹 介

岩槻会員 瀬川 幸雄 さん

岩槻開智学園で学園生の「登下校見守り」に就業している瀬川さんです。

シルバー人材センターに入会して 20 年以上のベテランで、開智学園以外でもスポットでお祭り、花火大会などの整理員としても活躍されています。現在の就業は 13 年ほどでグループ 10 人のまとめ役として活躍されています。

就業上、気をつけていることは、生徒が車などから事故にあわないよう声掛けなど細心の注意を払っているとの事です。このような就業の成果もあり過去 15 年間無事故で継続できていることを誇らしげに語っておられました。

この仕事に携わって感じることは、「小学 1 年から高校卒業まで生徒の登下校を見守り、その成長の姿を見ることは何より楽しいし、

このシルバーの仕事に感謝です」と話されています。また、学園生からの明るく元気な挨拶もあって、気合いが入るし元気が出るようです。

趣味は、家庭菜園で色々な野菜を栽培しているとの事です。インタビューの朝も「今日はサツマイモを植えてきたよ！」と笑顔で話されました。

「今はいたって健康なので元気なうちはこの仕事を続けていきたい」との事でした。

現在 84 歳になられますが、益々お元気で頼もしい瀬川さんでした。

(取材・小松編集委員)



心をこめて接しています

お 客 様 の 声

西浦和霊園 管理事務所 様

さいたま市桜区田島の国道 17 号（通称新大宮バイパス）に面した霊園です。その管理事務所で責任者の内山さんと指定石材店井上さんのお二人にお話を伺いました。

西浦和霊園は敷地内に霊園と桜聖陵、西桜陵とあり、その三か所を管理されています。「開園は平成 14 年で、シルバー人材センターへの依頼は翌年 15 年から現在に至って約 22 年継続している。当初は 1 名で依頼をして、現在は 3 名で就業をしてもらっている」と言われました。

「就業時間は朝 9 時から 17 時（10 時と 15 時の 2 回休憩、昼休みは 1 時間）です。月の就業日は 1 名あたり 6 日～7 日を目安として、3 名でシフトを組んでいる」そうです。

作業依頼は「園内の清掃、法事のお手伝いが主です。その中で参拝の方との接する

機会も多いため顔見知りにもなり、会話、接遇する姿勢も高評価をいただき、又、園内清掃もお参りに来られた方たちから常にきれいにさせていただいてとの感謝の言葉も聞く」と言われました。

内山さんから屋外作業のため夏場は会員に対して特に水分補給含めて会員の体調には注意をしていると暖かいお言葉をいただきました。

そして、「希望として就業されている方に対して、元気で無理をせず働いてもらうことが一番」と一言付け加えていただきました。

(取材・吉川編集委員)



朝夕の送迎時を安全に— その名も「見守り隊」

2023 年に現在の新園舎へ移転しました。「駐車場が広く、霧敷川があって、桜も咲いて…自然に恵まれたいい場所ということでこちらに」（黒須正子園長）。

現在、園児 72 人、職員 13 人、パート職員 6 人。保育は 7 時 30 分～18 時 30 分の 11 時間だが、超える時も結構あるようです。「園児に、親子に、地域の方に喜ばれる保育園」を目指しています。

園周辺は、細い道だがクルマは多く、見通しの効かない角地のため、朝夕の送迎時の安全をシルバー会員が担っています。その名も「見守り隊」。メンバー 4 人が、朝夕一人ずつ門前に立ちます。就業時は、蛍光ライン入りの専用チョッキを着用し、「気をつけてね」「バイバイ」と園児と交流します。「見守り隊は親切で、職員、保護者、園児への心がけが素晴らしい」。さらに庭の草むしりや清掃な

ども率先してやるそうので「よくやっていただいて感謝しています」。

園の理念は、地域とつながり、地域とけこみ、地域と共に歩むこと。園の目標は、“のびのびと健やかなやさしく元気な子”が育つようにすること。「がんばっている園児は、楽しそうで、素晴らしい」。公園がいくつもあるので、歩いて出かけて喜んでいる。与野公園まで足を伸ばしたこともある。2 歳児 3 歳児が手をつないで歩いて、体をきたえて、帰って給食、お昼寝、そして 3 時のおやつ…「これから暑い日なので、安全安心を第一に、水遊びを中心にやっていきたい」とのこと。

（取材・小野塚編集委員）



お客様の声

歴史と自然に包まれた癒しの杜

さいたま市岩槻区宮町にある武州岩槻総鎮守久伊豆神社の宮司であられる馬場様をお訪ねしました。

久伊豆神社は、さいたま市岩槻区にある由緒ある神社です。岩槻城の総鎮守として知られ、江戸時代には鬼門除けの役割を果たしていました。主祭神は^{おおなむちのみこと}大己貴命（^{おおくにぬしのみこと}大国主命）で、安産祈願や厄除け、方位除けなどの御祈願が行われています。

岩槻は、御成街道の宿場として古くから開け、近くの村々、たくさんの人々から「明神様」として崇敬され岩槻の総鎮守として現在に至っています。

境内には歴史を感じさせる社殿と敷地内には保育園を擁し、四季折々の自然が楽しめる情緒あふれる静寂感が魅力です。

また、年間を通じてさまざまな祭事が催さ

武州岩槻総鎮守 久伊豆神社 様

れています。特に秋の例大祭は地域の平安を祈る古式豊かな伝統行事として催されます。

さらに岩槻黒奴の伝統芸能なども披露され大変賑わいます。

シルバー会員の仕事は、境内の清掃で掃き掃除、除草など週 2 回午前中に従事しており、約 20 年になります。

馬場様からは、「皆さん真面目で長年良くやって頂いて大変感謝しています。今後ともよろしくお願いします」とのありがたい評価を頂きました。

（取材・小松編集委員）



地域会議・親睦会総会の開催

大宮区第一地域は10班、会員221名です。地域会議と地域独自の親睦会を同日に年2回開催しています。コロナ禍以降会場を『憩の家』に変更。地域北端のため参加者のエリアが片寄り、減少で残念な状況でした。しかし6月5日年度第一回到前回比8名増の30名（申し込みは35名）、特に直近2年間に入会し初参加6名と女性会員5名の出席があり有難いです。

地域会議・親睦会は日頃交流の機会が少ない多くの方には貴重な場。皆様に楽しんでいただくため研修会や日本の伝統芸能「落語・江戸糸操り人形」中国琵琶公演も開催し好評でした。

皆様が人材センターに入会された動機、目的は様々でしょうがいろいろな仕事に挑戦されることをお勧めします。多くの経験を積ま

大宮区第一地域 山崎 眞信^{まさのぶ}

れた方々との出会いとつながりは大変貴重です。仕事での社会参加により充実感と多くの人間関係で新たな知識と心の視野も広がるのを実感されるでしょう。信頼関係と責任を引き受けることで生きていく自信につながるのではではないでしょうか。

シルバー世代が元気に心身ともに健康に過ごすための三原則 『行くところがある、会う人がいる、することがある』そしてこれからも『光輝！！高齢者』を目指しませんか！！



昨年他地域に先駆け 「Smile to Smile」登録会

岩槻区第二地域は、東武アーバンパークライン岩槻駅の西側に位置し、蓮田市、さいたま市見沼区に接する地域で、岩槻の総鎮守として祀られている久伊豆神社がある地域です。第二地域の会員数は現在約200名弱で9班に分かれて「働く・学ぶ・集う」をモットーに人間関係を大切に活動しています。

私は、地域長になって4年目ですが、毎年度、さいたま市シルバー人材センター第3次中期計画に基づいて、①地域活動の充実を図るべくテーマを設けて地域会議を開催、②ボランティア活動の推進としてゴミ拾いを通じて地域社会に貢献し、併せて会員同士の集まる場として有意義な活動を行っています。

昨年、第二地域では、デジタル化への取り組みの一環として他地域に先駆けて「Smile to Smile」の登録会を実施しました。当日は各自がスマホを持ち寄り、講師

岩槻区第二地域 今福 敏郎

として島村副理事長らをお招きし、事務局の方にもお手伝いいただきました。参加した会員は丁寧なご指導により、「Smile to Smile」のマイページ登録を行う上で、ログインID、パスワードの入力等を行い、参加した会員は登録を済ませました。その後、登録会はさいたま市シルバー人材センターとして49回の登録会を行ったと聞きました。この登録会が一定の成果に繋がったと思っています。

また、昨今の課題として、各班の班長交代時においてなかなか次の班長が決まらない難しい問題が生じてきています。今後は日頃から事務所、地域長、班長、会員の間で意思疎通を充分図っていくことが大事であることを念頭に、地域長、班長も健康に気を付けて頑張っていきたいと思っています。



親睦互助会

雨の一泊旅行

例年、秋に行っていた一泊旅行を、たまには春に行ってみようという意見があり、5月30日（金）～31日（土）に実施しました。

成田山新勝寺と犬吠埼灯台をめぐる旅行です。大型バス2台で50名と少ない人数でしたが、ゆったりと座れたので、良かったと思います。

あいにくの雨でしたが、そのせいか何処へ行っても空いていて、成田山の本殿は靴をぬいで、ゆっくり御本尊の前でお参りができました。成田空港のとなりにある航空科学博物館では、展望室から空港を離発着する飛行機を間近に見たり、ファーストクラスの座席の座り心地を体験したり、ジェット機のフライトシミュレーターを体験したりと楽しい時間を過ごしました。

宿泊は九十九里。全室オーシャンビュー

浦和支部 ^{たいらく} 大楽 裕子

のお部屋からは長く続く海岸線を眺め、2日目のお昼は銚子漁港で新鮮なお魚をいただき、満願寺で一年の願い事を祈願して来ました。犬吠埼灯台は雨風がひどくてバスの中からの見学になりましたが、神社仏閣を楽しむ方、夜の宴会で日頃の成果をカラオケで発表したり、お部屋からの景色をスケッチする方、お土産をたくさん買う方と、人それぞれに旅を満喫されたようでした。



「ふれあい会」の活動

親睦互助会大宮支部は、「ふれあい会」として高齢者の活力ある地域社会作りに寄与するという趣旨に基づき活動しております。支部としては、日帰りバス旅行やグラウンドゴルフ大会を実施しております。また、地区ごとに清掃ボランティア、歩こう会、お花見会などを通して、会員の交流、親睦、ふれあいの場を設け、センター活動活性化の一助となるよう活動しております。毎月の役員会においても、地域貢献ができないか模索しているところです。

一方で、活動のネックとなっているものの一つが、活動場所までの交通手段です。高齢者の運転する自家用車での相乗りは、万一交通事故に遭遇した際に損害賠償の問題が生じる可能性があります。親切心から同乗を考えた場合でも、この点が懸念材料

大宮支部 荒川 義一

となり、活動が制限されているのではないかとという危惧があります。

支部活動としては、令和6年度ふれあい会第2回「グラウンドゴルフ大会」を、令和7年3月7日（金）に見沼区の「堀崎公園」で開催いたしました。当日は快晴でしたが、強い北風が吹く中、20名が元気に腕を競い合いました。結果は、優勝が源 波里子さん（見沼区第一地域）、準優勝が橋本 諭さん（見沼区第三地域）、第三位が添田 昌孝さん（見沼区第二地域）でした。



定期総会を終えて

令和7年度の与野支部定期総会が5月11日（日）に開催されました。昨年の定期総会で役員が一新し、新体制で臨んだ総会でしたが、会員の皆様のご協力を持ちまして議事進行も支障なく無事閉会することができました。そして、初めて取り組んだ「総会後の抽選会」も楽しく盛り上げることができました。親睦互助会与野支部として現在の世情を考えますと決して樂觀できるものではありませんが、本年の事業計画である①会員同士の親睦と交流を深めるためにクラブ（同好会）活動の支援・育成・強化に努める。②日帰り研修バス旅行を実施する。③親睦互助会が開催する行事などに参加・協力する。これら3本柱の完遂に邁進したいと考えております。クラブ（同好会）活動においては、6月に新しく、「健康麻雀クラブ（同好会）」が発足し早速、活動を開

与野支部 津野 武文

始しています。現存の「カラオケ同好会」「グラウンド・ゴルフ同好会」「ハイキング同好会」「芙蓉の会」も各々新たな思考を加えながら元気に活動を開始しています。

「日帰り研修バス旅行」についても、早々にプロジェクトを立上げ検討に入っています。本年度もよろしくお願いいたします。



年次定期総会の開催

親睦互助会岩槻支部（通称みどり会）では、昨年度の活動報告と年度の計画を会員に報告し審議するため、定期総会を本年も5月23日（金）に岩槻区本丸公民館視聴覚ホールにて開催しました。当日は80名近い会員が出席し、さいたま市シルバー人材センター島村副理事長、齊藤理事、及び岩槻事務所長をお迎えし、盛大に開催しました。

みどり会はシルバー会員からの会費により運営していることから、収支決算と予算案については明瞭に報告・説明する必要があり、報告後の質疑応答では参加会員からこれらについての質問、意見がありました。また、会員の親睦交流を目的とした活動として、秋の「日帰りバス旅行」、年明け1月の老人福祉センター槻寿苑での「新年会」などの計画を報告しました。さらに、喜寿を迎えられた

岩槻支部 笠原 和男

25名の会員へのお祝い金を贈呈し、ご長寿とご健康をお祝いしました。

加えて、グラウンドゴルフ愛好会、ドンパン会、手芸班の各同好会の代表より活動状況の紹介をしていただき、同好会への会員の参加を募りました。

本年度は大幅な役員の入替えがあり慣れない面もありますが、多くの会員に参加してもらえる魅力ある企画となるよう尽力していこうと役員間で話をしています。



女子会だより

女子会とは、さいたま市シルバー人材センターの女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活発化させることで、女性会員の入会促進、仲間づくりなどにつなげるため実施しているものです。

昨年度に引き続き「女性会員の皆さんにもっとセンター活動に参加し、もっと楽しんでいただき、輝いてもらいたい」そんな思いと、もっと女性会員を増やしたい、女性会員の比率4割！を目指そうとした目標を“女性(J)会員(K)比率4割”の頭文字をとりJ K 4計画とし、
「もっと輝け♥シルボンヌ ～J K 4計画～」のスローガンのもと、女子会を実施しています。

令和7年1月29日(水)にRaiBoC Hall、
2月4日(火)に浦和コミュニティセンターにて女子会を開催しました。今回は会員だけでなく、60歳以上の一般市民にも参加を呼びかけ、2日間で合計79名(うち一般市民11名)が参加しました。

保健師による「フレイル予防と健康診断結果のミカタ」では健診結果の見方を学び、「笑顔咲く！健康体操」では歌や手遊びを交えた運動を行いました。茶話会では参加者同士が和やかに交流し、笑顔あふれる時間となりました。



「フレイル予防と
健康診断結果のミカタ」



「笑顔咲く！健康体操」

「仲間づくりができてよかった」「また参加したい」といった声も寄せられ、会員拡大にもつながる有意義な催しとなりました。

開催案内は会員ニュースに合わせて配布いたします。多くのご参加をお待ちしております。

♥ 令和7年度の開催 ♥

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

<浦和事務所>

令和8年2月頃実施予定 内容未定

<大宮事務所>

6月6日(金) 13時から

「造幣局工場見学ツアー」

(造幣さいたま博物館)

<与野事務所>

6月11日(水) 13時30分から

「ラベンダーバンドルズ作り」

(与野事務所)

<岩槻事務所>

7月23日(水) 13時30分から

「AIロボットと

マツスゲームを楽しもう！」

(にぎわい交流館いわつき)

安全だより

令和6年度に当センターで発生した事故は、傷害事故27件、賠償事故15件、車両事故7件の合計49件となりました。昨年度と比較すると、傷害事故は5件、賠償事故は2件、車両事故は1件と、いずれも増加する結果となっています。

事故の詳細を分析すると、傷害事故では就業先や活動先への往復中の転倒が9件、就業中の転倒が6件と、転倒事故が全体の半数以上を占めていました。加齢による体力の衰えや、認知能力の低下を意識し、作業や就業途上には十分注意しましょう。

賠償事故では、刈払機によるものが多く、「飛散物による損壊」が5件、「器具・用具を接触させての損壊」が2件発生し、これらが全体の約半数を占めています。事故の検証を行っている安全委員会では、二枚刃の刈払機の使用が徹底されていないことが指摘されました。二枚刃の刈払機を各事務所に配備し、今後は安全性の高い機器の使用を強化してまいります。

また、車両事故については、後退時の確認不足によるものが4件発生しており、こちらも再発防止に向けた注意喚起が必要です。

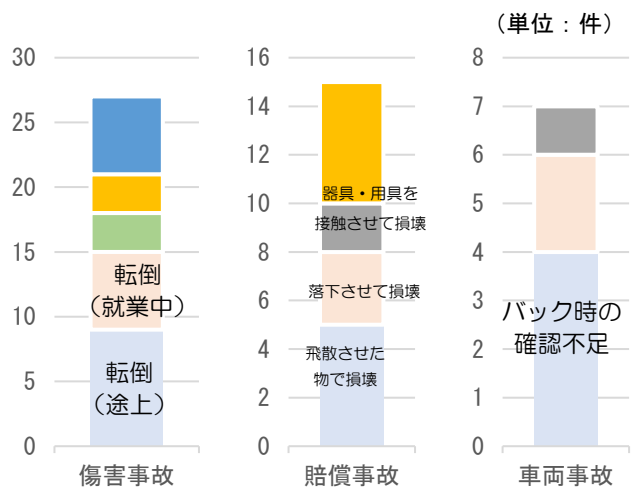
今後も事故件数の削減を目指し、各種の安全研修会や講習会を計画しております。会員の皆さまにおかれましては、地域や職場での安全意識の啓発とともに、「安全のしおり」の継続的な活用をお願いいたします。

連日厳しい暑さが続いております。屋外での作業は特に危険を伴いますので、こまめな水分補給や適切な休憩をとるなど、熱中症予防を徹底していただきますようお願いいたします。

令和6年度事故状況

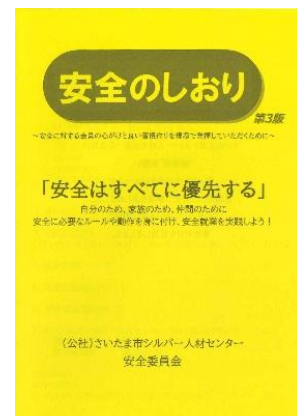
(単位：件)

	傷害	賠償	車両	合計
6年度	27	15	7	49
5年度	22	13	6	41
増減	+5	+2	+1	+8



(単位：件)

傷害事故		賠償事故		車両事故	
転倒(途上)	9	飛散させた物で損壊(刈払機)	5	バック時の確認不足	4
転倒(就業中)	6	落下させて損壊	3	誤操作	2
墜落、転落	3	器具・用具を接触させて損壊(刈払機)	2	その他	1
激突	3	その他	5	合計	7
その他	6	合計	15		
合計	27				



事務局より

安全スローガン決定！

令和7年度・令和8年度安全スローガンが安全委員会において、右の2作品が選出されました。

この2作品を令和7年度・令和8年度を通して安全意識の啓発に活用してまいります。

まずはのぼり旗を作成し、安全パトロール等に活用してまいります。



目指せ！事故0

点検、確認、安全作業の第一歩

(公社)さいたま市シルバー人材センター

ちょっと待て その過信が事故まねく

(公社)さいたま市シルバー人材センター

(右)浦和事務所 大熊 一夫 会員の作品
(左)岩槻事務所 大澤 功 会員の作品

編

集

後

記

令和7年度定時総会が多くの会員の皆様にご参加いただき、今年もアトラクションやお楽しみ抽選会が開催され、無事に終えることができました。

暑さが増す季節になり、こまめな水分補給などの熱中症対策をしっかりと行い、体調管理に気をつけて、外出時には交通事故や転倒などにも十分注意しましょう。

皆様が笑顔で元気に過ごせる日々を願っております。
(編集委員会)

表

紙

与野公園

「ばらテラス」からの眺め

豊かな自然にあふれ、区民の憩いの場となっている与野公園。今年の春にはカフェも新設されて賑わっています。その隣にできた「ばらテラス」からの、今までにない眺めです。